

新沖縄県行政運営プログラム
令和5年度推進状況・令和6年度実施計画概要(案)

<令和6年 月>

1 新沖縄県行政運営プログラム概要

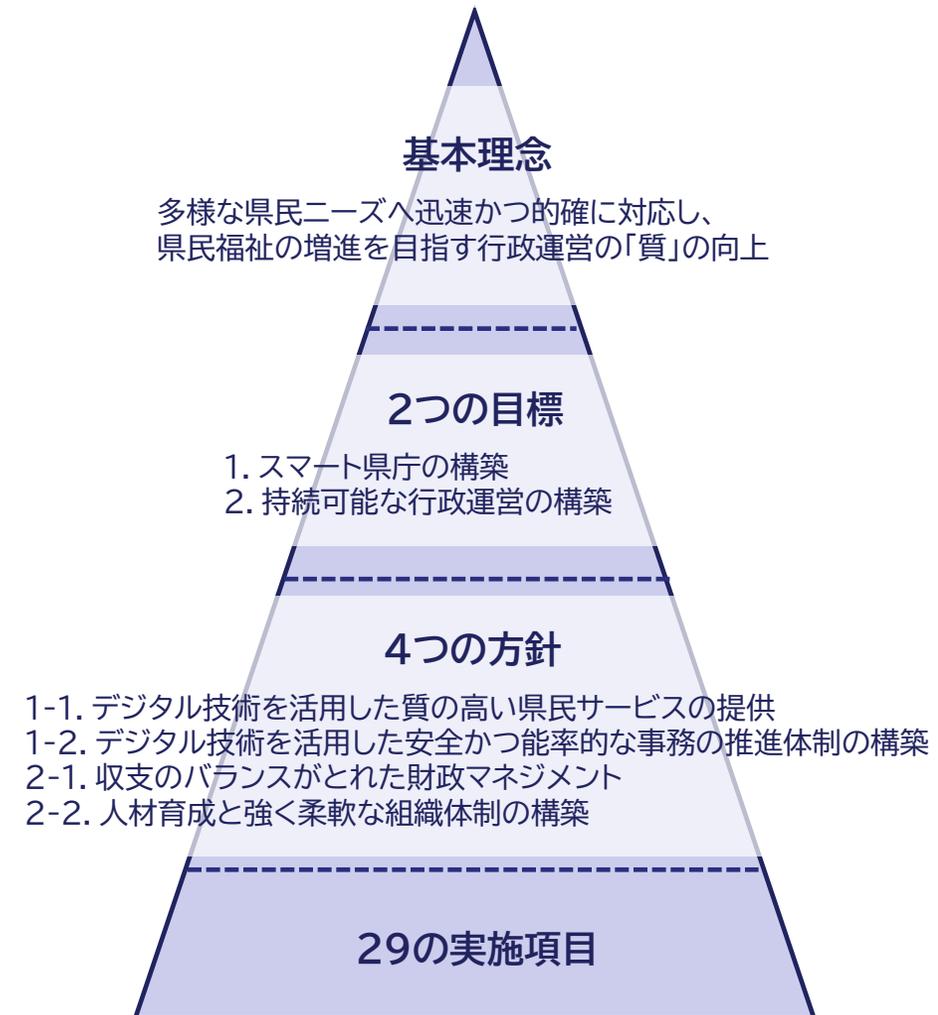
<目的・性質>

- 本プログラムは、沖縄21世紀ビジョンの実現に向けて、行政の「質」の向上を重視し、常に県民本位の行政運営を推進することにより、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画等を推進するプラットフォーム(基盤)としての役割を担うべく、令和5年3月に策定。実施期間は令和5年度から令和8年度の4年間。
- 本プログラムは、多様な県民ニーズへ迅速かつ的確に対応し、県民福祉の増進を目指す行政運営の「質」の向上を基本理念とし、スマート県庁の構築及び持続可能な行政運営の構築の2つの目標を掲げる。
- 上記の理念、目標のもと、デジタル技術を活用した質の高い県民サービスの提供、安全かつ能率的な事務の推進体制の構築、収支のバランスがとれた財政マネジメント、人材育成と強く柔軟な組織体制の整備に向けた取組を推進する。

<推進体制等>

- 知事を本部長とする行財政改革推進本部を中心に、全庁をあげて取組を推進する。
- 推進状況の検証結果等については、外部有識者で構成する行財政改革懇話会に報告し、助言を得る。また、県ホームページ等で県民に公表する。
- 検証結果を踏まえ、多様化する行政需要に的確に対応する柔軟な組織運営、効率的かつ重点的な予算配分に努める。

新沖縄県行政運営プログラム



2 推進状況の検証・実施計画の策定について

<概要>

- 本プログラムでは、毎年度、実施項目についてPDCAサイクルによる推進状況の検証を行うほか、柔軟に実施計画を見直すとしている。
- 今回、令和5年度における実績の検証及び令和6年度の実施計画の策定を進める。

<進め方>

- 実施項目の推進状況については、所管課において、以下の基準により総合的に判定する。
 - └ 順調：実施計画どおり又は前倒しで取組を推進している(90%以上)
 - └ やや遅れ：実施計画と比較して若干の遅れがある(概ね60%~90%未満)
 - └ 大幅遅れ：実施計画と比較して大幅に遅れがある(概ね60%未満)
- 行財政推進本部幹事会・行財政改革推進本部での議論、行財政改革懇話会での有識者意見の聴取を経て、検証結果を取りまとめるとともに、実施計画を策定する。これらについては、県ホームページにおいて県民向けに公表する。



3 令和5年度推進状況 | 全体概要

<概要>

- 今回の検証においては、令和5年度における推進状況について、本プログラムに掲載する29の実施項目のうち、推進状況が「**順調**」となったものは**23件であり、全体の79.3%**を占めていることから、**令和5年度における取組は総じて順調**であったものと判断できる。
- しかしながら、推進状況が「**やや遅れ**」となった実施項目が**3件、全体の10.3%**、「**大幅遅れ**」となった実施項目が**3件、全体の10.3%**となっていることから、改善を図る必要がある。
- 改善に向けては、今回の検証において把握した課題等を踏まえ、今後の取組の方向性を整理し、令和6年度実施計画への反映を行ったところであり、各取組項目を所管する部局等において、主体的な取組のもと、改善策の実施を図るとともに、引き続き、**PDCAサイクルによる検証等を継続**していくことで、本プログラムの着実な推進を図っていく。

目標	順調		やや遅れ		大幅遅れ		合計	
	件	割合	件	割合	件	割合	件	割合
1. スマート県庁の構築	9	100%	0	0.0%	0	0.0%	9	100%
1-1 デジタル技術を活用した質の高い 県民サービスの提供	5	100%	0	0.0%	0	0.0%	5	100%
1-2 デジタル技術を活用した安全かつ能率的な 事務の推進体制の構築	4	100%	0	0.0%	0	0.0%	4	100%
2. 持続可能な行政運営の構築	14	70.0%	3	15.0%	3	15.0%	20	100%
2-1 収支のバランスがとれた財政マネジメント	9	75.0%	1	8.3%	2	16.7%	12	100%
2-2 人材育成と強く柔軟な組織体制の整備	5	62.5%	2	25.0%	1	12.5%	8	100%
合 計	23	79.3%	3	10.3%	3	10.3%	29	100%

4 令和5年度推進状況 | 推進状況別一覧

<「順調」であった実施項目>

実施項目	
1	情報の伝わり方を重視した広報の確立
2	オープンデータ利活用に向けたデータの充実
3	収納手続のオンライン化
4	電子申請手続の拡充
5	データを活用した政策(事業)立案や業務執行(EBPMの推進)
6	多様な働き方に対応した職場環境基盤整備
7	財務会計に関するシステムの電子決裁対応
8	業務プロセスの見直し
8-2	アナログ規制の点検・見直し
10	観光振興を目的とする新税の導入
11-1	歳入金の適切な管理(未収金の解消)
11-2	歳入金の適切な管理(財産の有効活用)
11-3	歳入金の適切な管理(使用料及び手数料の見直し)
12	総合的な公債管理の推進
13	県単補助金の見直し
14	沖縄県公共施設等総合管理計画に基づく県有財産の適正な管理
17	PPP/PFIの推進
18	ふるさと納税制度等を利用したクラウドファンディングの推進
19	組織の見直し及び定員の適正な管理
20	公社等への適切な指導及び支援内容等の公表
21	働き方改革・女性活躍促進と研修等を活用した人材育成
22	職員の健康確保
23	教育委員会における働き方改革・女性活躍推進と職場環境の整備

<「やや遅れ」「大幅遅れ」であった実施項目>

実施項目		推進状況
9	県税収入の確保	やや遅れ
15	特別会計事業の適正な運営	大幅遅れ
16	県立病院の経営強化	大幅遅れ
24	内部統制機能の強化	大幅遅れ
25-1	業務継続計画の整備(業務継続計画策定等の推進(災害BCP))	やや遅れ
25-2	業務継続計画の整備(業務継続計画の見直し(新型インフルエンザ等感染症BCP))	やや遅れ

5 令和6年度実施計画 | 主な実施項目

<実施項目2 オープンデータ利活用に向けたデータの充実>

- 国が推奨する「自治体標準オープンデータセット」に該当するデータをはじめ、その他のデータの公開も含めて関係所属との調整を進める。また、CSV形式などの二次利用しやすい形式での公開の推進、適時・適切な更新を進め、データの質の向上を図る。
- 主な成果指標
 - ・ 自治体標準オープンデータセットに該当するデータのうち、本県で公開しているデータの数(累計)
 - ・ R6年度目標 9件 (R5年度実績 7件)

<実施項目18 ふるさと納税制度等を利用したクラウドファンディングの推進>

- 離島生徒の部活動渡航費支援や少年少女空手大会の活動支援等に係る事業などに対する寄附を募集する。
また、全庁意向調査により、次年度における寄附金募集事業を5事業程度選定する。
- 主な成果指標
 - ・ クラウドファンディング活用事業数
 - ・ R6年度目標 2件 (R5年度実績 1件)

<実施項目8 業務プロセスの見直し>

- 令和5年度(過年度)に選定した業務※の見直しに取り組む他、次年度の見直し対象業務の検討の向け、各所属からの提案募集等に取り組む。また、業務改善の意識づけに向けた、ワークショップ型研修の開催等に取り組む。
※ 公用車の集中管理、スケジュール管理の効率化、臨時任用職員採用の効率化 等
- 主な成果指標
 - ・ 業務プロセスの見直し件数(累計)
 - ・ R6年度目標 10件 (R5年度実績 8件)

<実施項目24 内部統制機能の強化>

- 内部統制機能、体制の強化に向けて、各所属における主体的な取組体制の検討、期中のリスク見直しとあわせた中間評価を行う。また、職員の法令順守の徹底、職場環境の整備に向けワークショップ型研修、実演形式の研修を実施する他、コンプライアンス推進週間において、庁内放送等による「沖縄県職員の職務規範」の周知に取り組む。
- 主な成果指標
 - ・ 内部統制評価における重大な不備数
 - ・ R6年度目標 0件 (R5年度実績 3件※ R4年度実績)